

## 【令和4年度第1回農村振興施策検討委員会】

### みやぎの地域資源保全活用支援事業について

- 1 令和3年度の実績について 【P1】
- 2 令和4年度の計画について 【P3】



【第9回みやぎのふるさと農美里<sup>のんびり</sup>フォトコンテスト(R3)】

—宮城県知事賞「山里の春」(大崎市)—

宮城県農政部農山漁村なりわい課



1. 令和3年度の実績について【補正後 12,000 千円（当初 16,000 千円）】

みやぎの地域資源保全活用支援事業（国事業名：ふるさと・水と土保全対策事業）は、中山間地域等の農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、活動を推進する人材の育成や農地・施設の保全及び利活用の促進に対する支援を実施しているもの。

なお、令和3年度の実績は、以下のとおり。

(1) 基金運用見込み

(単位：千円)

	R2年度 実績	R3年度 実績	増減	対前年比
基金元本（年度末）	673,481	667,028	▲6,453	99%
基金積立	0	0	—	—
基金戻し入れ	622	28	▲594	5%
基金取崩	5,937	6,481	544	109%
基金運用益 〔※H30～R2 平均 5,410 千円〕	4,657	3,990	▲667	86%

(2) 主な取り組み（事業費 10,458 千円）

① ふるさと水と土指導員・保全隊に対する補助

県内 10 の保全隊等の保全活動に対し補助金を交付

- ・事業費 1,750 千円

② 第9回みやぎのふるさと農美里<sup>のんびり</sup>フォトコンテストの開催

農業農村の魅力を広く紹介するため、フォトコンテストを開催（宮城県中山間地域活性化推進協議会、宮城県土地改良事業団体連合会と共催）した。

また、県庁1階ロビーにおいて、第8回入賞作品の展示を行い、広報活動を実施したもの。

- ・事業費 132 千円
- ・募集期間 令和3年8月2日（月）から12月28日（火）まで実施
- ・審査日 令和4年2月14日（月）
- ・県庁1階ロビー展示期間 令和3年8月2日（月）～6日（金）

③ ふるさと水と土指導員研修会の開催

令和3年度ふるさと水と土基金全国研修会（東京）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、前年度に引き続き開催中止となった。

なお、前年度は全ての研修会の開催を見送ったが、今年度は次の研修会を開催したもの。

- ・ 第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会 令和3年9月5日（日）  
オンライン開催 1人参加
- ・ 中山間地域等地域資源保全活用研修会 令和4年2月1日（火）  
オンライン開催 10人参加（うち1人は、指導員候補予定者の参加）

④ 地域住民活動促進事業

- ・ 事業費 7,633千円

ア 地域資源等保全活用支援事業（事務所提案事業の実施）

- ・ 事業費 6,600千円
- ・ 大崎地域（1市4町）（事業実施主体：北部地方振興事務所）

大崎地域世界農業遺産の巧みな水管理システムを構成する水管理基盤において、施設の由来や歴史等の調査によりデータベース化を構築し、また、啓発資料を作成するもの。

イ 地域文化等継承活動支援事業

- ・ 事業費 1,033千円
- ・ 大崎市鳴子温泉鬼首地域

鬼首神楽の活動支援を行うワークショップを開催



山の文化祭で活動紹介



自費でカレンダーを作成し、会員募集の広報活動を実施

⑤ 国の事業実施計画における成果目標に対する実績見込み

- ・ 地域住民活動を通じた地域づくり支援 【目標2地区】⇒1地区
- ・ 地域住民活動，調査研究等に係る補助事業 【目標15団体】⇒10団体
- ・ ふるさと水と土指導員の研修会 【目標1回】⇒2回
- ・ ふるさと水と土指導員の育成（全国研修会参加者） 【目標3人】⇒0人
- ・ 第三者検討委員会の開催 【目標2回】⇒2回

## 2. 令和4年度の計画について 【当初予算 13,000 千円（前年当初 16,000 千円）】

みやぎの地域資源保全活用支援事業（国事業名：ふるさと・水と土保全対策事業）を実施し、中山間地域等の農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、活動を推進する人材の育成や農地・施設の保全及び利活用の促進に対する支援を実施するもの。

なお、令和4年度の計画は、以下のとおり。

### (1) 主な取り組み（事業費 13,000 千円）

#### ① ふるさと水と土指導員・保全隊に対する補助

県内10と新規（見込み）の保全隊等の保全活動に対し補助金を交付予定  
・事業費 2,640 千円

#### ② 第10回みやぎのふるさと農美里<sup>のんびり</sup>フォトコンテストの開催

農業農村の魅力を広く紹介するため、フォトコンテストを開催予定（宮城県中山間地域活性化推進協議会、宮城県土地改良事業団体連合会と共催）

・事業費 150 千円

#### ③ ふるさと水と土指導員・保全隊研修会の開催

ふるさと水と土指導員等の交流を兼ねた研修会を開催予定

・事業費 526 千円

#### ④ 地域住民活動促進事業

地域資源の保全活用について、各地域の特徴ある保全・活用を図るため、各地方振興事務所からの提案事業を実施するもの。

##### ア 地域資源等保全活用支援事業（事務所提案事業の実施）

・事業費 7,500 千円（今後事務所に要望量調査を実施）

内 訳 大崎耕土「巧みな水」地域資源保全活用調査

事業費 2,500 千円

地域資源保全活用支援調査・保全活用工法研究

事業費 5,000 千円

イ 令和3年度まで実施していた地域文化等継承活動支援事業（大崎市鳴子温泉鬼首地域）は、他事業（農山村集落体制づくり支援事業）で実施するものとした。

⑤ 地域住民活動の人材育成（宮城県農業大学校と農業高校の連携事業）

宮城県農業大学校と連携し、大崎地域世界農業遺産の巧みな水管理システムの維持継承に向けた人材育成を図るもの。

また、新たに農業高校との連携構築により、農業大学校の進路選択に繋がるような人材育成を目指すもの。

なお、令和3年度に実施した宮城県農業大学校との連携内容は、P5のとおり。

- ・事業費 960千円
- 内訳 405千円（宮城県農業大学校）  
555千円（農業高校3校）

⑥ 国の事業実施計画における成果目標

- ・地域住民活動を通じた地域資源保全活用調査 【目標3地区】
- ・地域住民活動，調査研究等に係る補助事業 【目標15団体】
- ・ふるさと水と土指導員の研修会 【目標1回】
- ・ふるさと水と土指導員の育成（全国研修会参加者）【目標3人】
- ・第三者検討委員会の開催 【目標2回】

- ▶ 農業者に世界農業遺産を普及するための人材育成の一環として、宮城県農業大学校において、世界農業遺産「大崎耕土」の内容を盛り込んだ講義を実施。

## 1 目的

- 宮城の農業の将来を担う人材として、大崎耕土の水管理システムがもたらす多面的機能や農村環境の保全についての理解を深める

## 2 授業内容

### (1) 1年次 (全学部)の学生39名)

- 内容：「農学基礎実習」の授業として「世界農業遺産と水管理システムについて」（講義・見学）2コマ
- 実施場所：水田経営学部教室・農業水利関連施設等
- 講師：宮城大学事業構想学群 郷古雅春先生
- 時期：5月7日

5

### (2) 2年次 (水田経営学部学生10名)

- 内容：「キャリア形成プログラム」の授業として「農村環境と生き物調査」（講義・実習）2コマ
- 実施場所：水田経営学部内水田
- 講師：大崎市世界農業遺産推進課職員
- 時期：6月21日





# 令和4年度みやぎの地域資源保全活用支援事業概要

## 事業目的

中山間地域等は、過疎化、高齢化等の著しい進行により、地域の活力が低下しつつある。農地や土地改良施設等の地域資源の利活用を基本とし、地域住民活動の多様な展開を促進することにより地域の活性化を図り、地域住民活動を推進する人材の育成、地域資源の利活用及び保全整備等を促進するものである。

【基金】・H5～9年度基金造成 660,000千円（抛割割合：国1/3、県2/3）

・R3年度末基金残高 667,028千円（R4年3月末時点）

【根拠】・（国）中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱

・（国）中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱

## 県条例及び要綱・要領等

- ・中山間地域等農村活性化基金条例（H31.3改正）
- ・みやぎの地域資源保全活用支援事業実施要綱（R2.4.1施行，R4.2.1一部改正）
- ・みやぎの地域資源保全活用支援事業補助金交付要綱（R2.4.1施行，R4.2.1一部改正）

## 事業内容

予算額：13,000千円（内7,500千円事務所提案枠）

### （1）地域資源に係る調査研究事業【8,330千円】

地域住民活動による土地改良施設や農地等の維持、補修、保全などの農山漁村振興に関わる調査や資源活用の検討を支援

①ワーケーション等による住民活動支援、土地改良施設等地域資源の工法研究

### （2）ふるさと・水と土指導員等研修事業【1,987千円】

①地域住民活動の活性化を図る指導員やリーダーの人材育成・確保

②世界農業遺産人材育成に係る教育機関との連携（農業大学校・高校）

### （3）地域資源の保全活用推進事業【2,683千円】

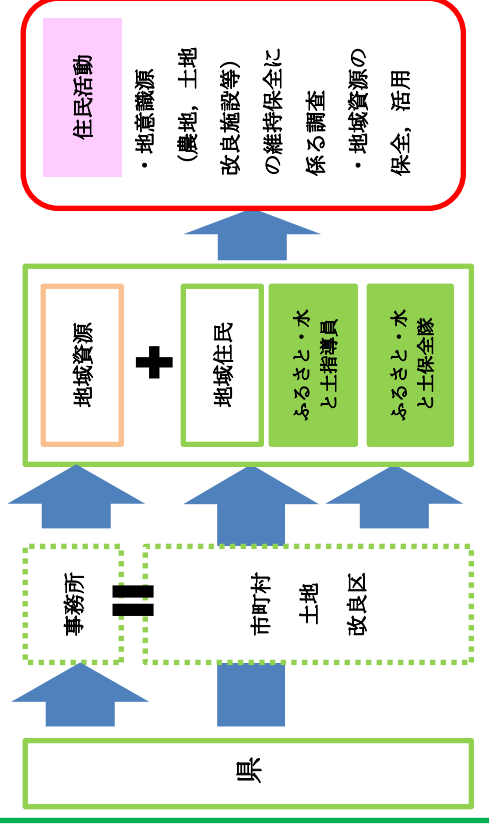
地域資源を活用した地域住民活動を実践する組織の構想化、設立支援及び活動への支援

①農村振興施策検討委員会の開催

②歴史的価値がある施設や環境配慮、親水施設等の地域住民が参画した保全活動を支援

③農村コミュニティの活性化による住民活動支援

## 事業の流れ



## 地域資源とは

自然環境、特産物、伝統的技術、文化財、歴史的・文化的施設、人材、コミュニティ等

## 事業効果

- ・歴史や文化、環境、生態系、景観など保全すべき資源調査による地域特有の資源が再発見され、6次産業化などの新たな起業が創設される。
- ・地域住民活動による農村に伝わる伝統文化及び伝統食の継承等により、コミュニティの維持及び農村地域の活性化が図られる。